

8月	豊川放水路 愛護モニター報告	モニター区間	放水路:左右岸 0.0km~6.6km 管轄出張所:豊川出張所
実施日	令和元年 8月25日(日)	実施区間	上記を中心に巡回



8月の14日(水)15日(木)16日(金)と台風10号が日本列島を縦断した。

水位が真になるが、放水路本来の持つ意味について改めて考えさせられた。また水の事故について特に8月は全国的にも相次いでいることから下記の新聞記事などを参考にしながらモニター活動をさせてもらった。

放水路ということで「大水の時に(いざというとき)

水の事故相次ぐ
豊田・南知多
愛知県内では18日、川や海で水難が相次いだ。県警によると、豊田市池島町坂口の矢作川で午後0時25分ごろ、男性が川に沈んであがってこないという通報があった。県警と消防が捜索している。男性は20代くらい。川岸

という役割を意識しながら右左岸とモニタリングをした。
で会社の関係者ら約15人のグループでバーベキューをしていた最中、1人で川に入ってしまったという。現場付近での水難事故は3年連続という。
また、南知多町の山海海水浴場でも午後3時15分ごろ、30~40代くらいの男性が約50分の沖合で溺れた。ほかの男性らに引き上げられ、病院に運ばれたが、意識不明の重体という。

(令和元年8/19(月)朝日)